

(様式第7号)

地域の課題解決のための活動報告

記入日：令和6年6月12日

作成者：坂口 武司

地域の課題解決のために行った活動を1つ選び、できるだけ具体的数値を挙げて報告してください。すべての項目に、一般の人に伝わりやすいようにご記入ください。

*この報告はあしや市民活動センターのホームページに掲載されます。

(登録を公開している団体のみ)

団体名	
はたちか会 (AC20 期同期会)	
事業名	日時 (期間)、場所
はたち会創立 20 周年記念 新春ジャズコンサート	2024 年 1 月 17 日 於：WILL 芦屋
内容 (実績) *実施したことを具体的に	受益者数
○出演者 原田紀子 (ヴォーカル) 川瀬 健 (ピアノ) 東 ともみ (ベース)	(48) 人
○演奏曲	参加者数
1. 懐かしの映画音楽 ① I could have danced all night (一晩中踊れたら) ② ジャニーギター (大砂塵) ③ シェルブールの雨傘 ④ True Love (上流社会) ⑤ To Love Again (愛情物語) 他	(51) 人
2. スタンダードジャズ ① バードランドの子守唄 ② マイ ファニー ヴァレンタイン ③ You'd Be So Nice To Come Home ④ アマポーラ ⑤ Hello Dolly 他	
3. みんなで楽しむジャズタイム ① 参加者がプロのバンドをバックに歌う 慕情 ラストダンスは私と ② 参加者全員で歌う 上を向いて歩こう 早春賦 冬の星座	

ウクレレ伴奏付き

成果（社会へのインパクト）*どのような良い変化を社会にもたらしたかを具体的に

- ① ノリの良いジャズのサウンドは魅力的でTVやレストラン・蕎麦屋・スーパー等のBGMとしても使われており、誰もがジャズを聞き流している。今回のコンサートで身近におしゃれなジャズを聞くことにより本当のジャズの良さを理解してもらえた。
- ② 特に、みんなで楽しむジャズコーナーでは参加者がプロのバンドをバックに歌ったり唱歌や日本の唄を全員で歌ったり、ウクレレで伴奏したりして「場」が盛り上がった。
どんな曲でもジャズ的にリズムカルな演奏ができ、楽しむことが出来るようになってきた。
- ③ これらにより、参加者同士のふれ合いが深まり、やりがいや生き甲斐づくりにも繋がり地域の活性化にも少しは貢献できているものと確信している。

今後の展望（どのように継続、発展するか）

- ① はたち会では発足当初から一般公開でジャズを中心に規模は（集客数も30名～250名）小さいが色々なジャンルのコンサートを毎年開催してきた。小さなコンサートではあるが、「継続は力なり」で今年度も開催する予定であるが、会員の高齢化が進み会員数も年々減少してきているので規模はより小さくミニコンサートのことしか出来なくなってきた。そこで昨年も提案したが、
- ② 文化の街・音楽の街、芦屋の名所として、「芦屋・ジャズ・コリドー」の創設を提案する。
「ルナホール」を中心に市民センター・仏教会館・活動センター・芦屋川教会・少し南になるが潮芦屋交流センターそしてメインは「芦屋さつまふじ」「Day By Day」「BEWICHED」「ウッドストックカフェ」（打出）等業平町から鳴尾御影線を「芦屋・ジャズ・コリドー」と名付けて、そこでは単発ではなく定期的にジャズの演奏が聴けるようにしたい。そして、はたち会のコンサートもその一翼を担いたい。